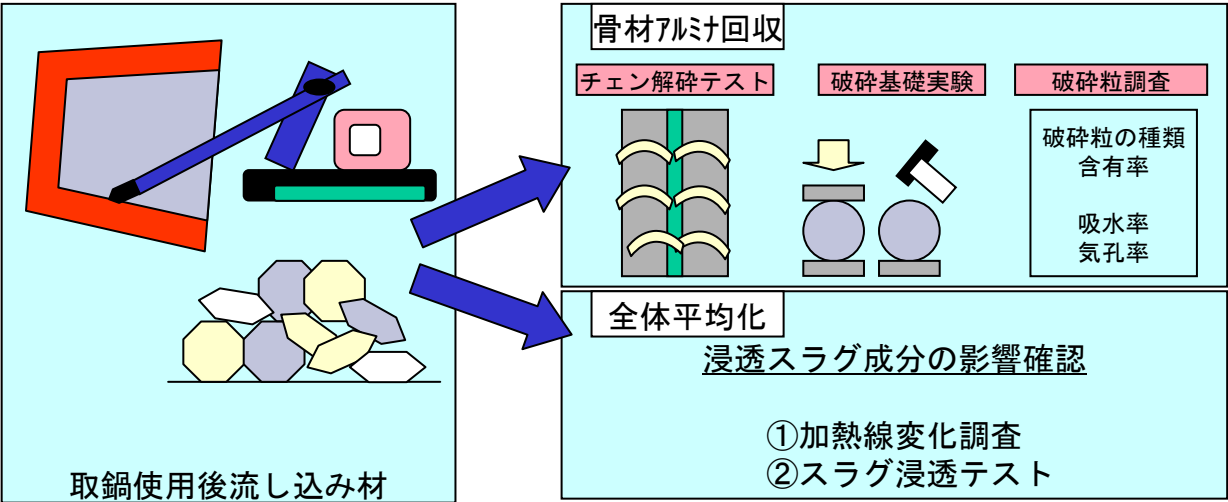


不定形耐火物のリサイクル技術の確立と新製品開発

担当者： 隠明寺 準治
武内 修治

平成18年度 研究内容

地球環境保護の立場から資源の有効活用はメーカーの義務、地球を守ろう！



平成18年度 研究成果

骨材アルミの回収

1. チェン解砕（昨年度の増量テスト）
能力不足。骨材も破砕 → 断念
2. 破砕基礎実験

静荷重破砕：骨材を迂回する傾向
衝撃破壊：骨材を貫通する傾向

静荷重
衝撃荷重
3. 解砕粒調査

微粉主体粒：A.P.25%,吸水率9% 多孔質
この部分の除去が必要

■ 実質部

■ 骨材+マトリックス

□ 骨材

□ マトリックス主体

ジョーグラッシャーにて解砕
4. 回収工程案 来年課題

ジョー
グラッシャー
マトリック
ス部除去
1mm以下
除去
色彩
選別
脱鉄
Al₂O₃粒

全体平均化

焼成温度 (×2h)	側壁平均	湯当平均	一般敷平均	全平均	WA98
1000°C	~1.5	~2.0	~1.0	~1.5	~1.0
1250°C	~3.0	~1.5	~1.0	~1.5	~1.0
1500°C	~6.5	~3.0	~1.0	~2.5	~1.0

加熱線変化

側壁：6%膨張
一般敷き：変化なし
全体平均：変化大

スラグ浸透深さ

全体平均試料の浸透大きい
(組織も影響、再確認必要)

	一般敷き	敷き湯当り	全体平均
切断面			
浸透さ	3.7mm	4.2mm	9.7mm